

オオムギ赤かび病は開花期の適期防除が重要

オオムギは赤かび被害粒が 10,000 粒中に 5 粒以上混入すると、規格外となります（農産物検査規格：赤かび粒 0.0%未満）。赤かび病はムギの開花期頃に高温多雨で多発します。今年は 4 月の気温は平年並~高い予想で、赤かび病に注意が必要です。

1 防除時期

! 1 回目の防除が遅れないように準備をしましょう。
適期の防除がとても重要な病害です。

**防除
適期**

1 回目は出穂 5 日後の開花始期*

2 回目は 1 回目の 10 日後

必ず 2 回防除を行いましょ

※開花と共に飛び散る花粉は赤かび病菌の麦への侵入に大きく関与し、その後の赤かび病菌増殖の栄養源となるといわれています。

- 圃場をこまめに巡回しムギの開花状況を確認し、遅れないようにする
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなる。粉剤は朝露で穂が湿っている早朝に散布すると効果が高い
- 液剤の散布量は地上散布（希釈倍率 1000 倍~）の場合 100ℓ以上（~150ℓ/10a）散布する

2 防除薬剤（大麦：赤かび病）

薬剤名 (RAC コード)	使用方法	使用濃度	使用量	使用時期	使用回数
トップジンM粉剤DL (1)	散布	—	4kg/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内 (出穂期以降は 1 回以内)
トップジンM水和剤 (1)	散布	1,000~ 1,500 倍	60~150L/10a	収穫 30 日前まで	
トップジンMゾル (1)	無人航空機による散布	8 倍	0.8L/10a	収穫 21 日前まで	
トリフミン水和剤 (3)	散布	1,000~ 2,000 倍	60~150L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内
ストロビーフロアブル (11)	散布	2,000~ 3,000 倍	60~150L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内
チルト乳剤 2.5 (3)	散布	1,000~ 2,000 倍	60~150L/10a	収穫 21 日前まで	1 回
	無人航空機による散布	8 倍	0.8L/10a		
ワークアップ粉剤DL (3)	散布	—	3kg/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内
ワークアップフロアブル (3)	無人航空機による散布	1.0~2.4 倍	0.8L/10a		
シルバキュアフロアブル (3)	散布	2,000 倍	60~150L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内
	無人航空機による散布	1.6 倍	0.8L/10a		



赤かび病被害（穂と粒）

分生孢子

被害部はサーモンピンクで表面は粉っぽい。
 ※アントシアンは少し赤紫で、表面につやがある。
 分生孢子（大型分生子）は細長い三日月型で隔膜 5~6 のものが一般的である（例外的）。

農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

令和4年度農作物病虫害防除指針（福井県）が県 HP から閲覧できます

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html> →



◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病虫害防除室 連絡先 0776(54)5100

福井県病虫害防除室

検索

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>
 QRコードをスキャンしてください →

